RoHS

COSMIC

DFS5212-12G

C5000 シリーズ

12G-SDI 対応

フレームシンクロナイズ・モジュール

取扱説明書

Ver 1.03

COSMIC

株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

注意　この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

⚠ 警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。

■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。

■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。 火災・感電の原因となります。

■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。

■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。 火災・感電の原因となります。

■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。 ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。 風通しの悪い狭い場所に押し込む。

■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙 1
はじめにお読みください 2
目次 5

１． 概要 10
２． 構成 10
３． 機能 10
４． ブロック図 11
５． 操作説明 12
５－１． フロント、リア入出力及び LED、OLED 表示 12
５－２． フロントモジュール設定 14
６． フレームの取付方法 14
７． 基本操作 15
８． エンベデット音声チャンネルについて 15
９． メニュー構成 16
１０． メニュー説明 19
１０－１． COMMON SETTING:REF SEL 19
１０－２． COMMON SETTING:PHASE OFFSET H 19
１０－３． COMMON SETTING:PHASE OFFSET V 19
１０－４． COMMON SETTING:FS MODE 19
１０－５． COMMON SETTING:FREEZE CTL 19
１０－６． COMMON SETTING:ANC OUT 19
１０－７． COMMON SETTING:SYSTEM FORMAT 19
１０－８． COMMON SETTING:TC SETTING:TC SEL 20
１０－９． COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET EN 20
１０－１０． COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET HH 20
１０－１１． COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET MM 20
１０－１２． COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET SS 20
１０－１３． COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET FR 20
１０－１４． COMMON SETTING:TC SETTING:INIT HH 20
１０－１５． COMMON SETTING:TC SETTING:INIT MM 20
１０－１６． COMMON SETTING:TC SETTING:INIT SS 20
１０－１７． COMMON SETTING:TC SETTING:INIT FR 20
１０－１８． COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BG1～INIT BG８ 20
１０－１９． COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BGF 20
１０－２０． COMMON SETTING:TC SETTING:FR LOAD EN 20
１０－２１． COMMON SETTING:TC SETTING:DROP FR EN 20

１０－２２． COMMON SETTING:TC SETTING:LOST ACTION.....21
１０－２３． COMMON SETTING:TC SETTING:INIT LOAD.....21
１０－２４． COMMON SETTING:TC SETTING:INT RUN.....21
１０－２５． COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC LTC EN.....21
１０－２６． COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC VITC EN.....21
１０－２７． COMMON SETTING:EMB SETTING:EMB OUT G1 EN～EMB OUT G8 EN.....21
１０－２８． COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB1 EMB.....21
１０－２９． COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB2 EMB.....21
１０－３０． COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB3 EMB～SUB4 EMB.....22
１０－３１． COMMON SETTING:AMODE PRECHG:AUTO EN.....22
１０－３２． COMMON SETTING:AMODE PRECHG: 1 M PRESET～OTHER PRESET.....22
１０－３３． COMMON SETTING:GPIO SETTING:GPI1 FUNCTION～GPI6 FUNCTION.....22
１０－３４． COMMON SETTING:GPIO SETTING:GPO1 FUNCTION～GPO6 FUNCTION.....22
１０－３５． PRESET SETTING:LOAD PRESET.....23
１０－３６． PRESET SETTING:SAVE PRESET.....23
１０－３７． PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01IN GAIN～EMB32IN GAIN.....23
１０－３８． PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01OUT GAIN～EMB32OUT GAIN.....23
１０－３９． PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 AMP,TT2 AMP.....23
１０－４０． PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 FREQ,TT2 FREQ.....23
１０－４１． PRESET SETTING:REMAP:REMAP CH01～REMAP CH32.....23
１０－４２． PRESET SETTING:DOWNMIX:SSEL CH01～SSEL CH32.....23
１０－４３． PRESET SETTING:DOWNMIX:LCOEF CH01～LCOEF CH32.....23
１０－４４． PRESET SETTING:DOWNMIX:RCOEF CH01～RCOEF CH32.....23
１０－４５． PRESET SETTING:DOWNMIX:LSIGN CH01～LSIGN CH32.....23
１０－４６． PRESET SETTING:DOWNMIX:RSIGN CH01～RSIGN CH32.....23
１０－４７． PRESET SETTING:MIX:MIX1 SSEL CH01～MIX1 SSEL CH04.....23
１０－４８． PRESET SETTING:MIX:MIX1 COEF CH01～MIX1 COEF CH04.....24
１０－４９． PRESET SETTING:AUDIO DELAY.....24
１０－５０． PRESET SETTING:VIDEO:LUMINANCE.....24
１０－５１． PRESET SETTING:VIDEO:SATURATION.....24
１０－５２． PRESET SETTING: VIDEO:HUE.....24
１０－５３． PRESET SETTING: VIDEO:CLAMP EN.....24
１０－５４． RETURN FEFAULT.....24
１０－５５． FACTORY RESET.....24
１１． SNMP.....25
１２． WebControl.....36
１２－１． モジュール画面.....36
１２－２． ステータス.....36
１２－２－１． SDI 入力１.....36
１２－２－２． リファレンス.....36

１２－２－３．　LTC 37
１２－２－４．　ファン 37
１２－２－５．　AVDL....37
１２－３．　各種設定 37
１２－３－１．　基本設定....38
１２－３－１－１．　プリセットロード 38
１２－３－１－２．　プリセットセーブ....38
１２－３－１－３．　初期設定に戻す 38
１２－３－１－４．　リファレンス選択....38
１２－３－１－５．　水平位相、垂直位相....38
１２－３－１－６．　FS モード....38
１２－３－１－７．　フリーズ動作 38
１２－３－１－８．　アンシラリー出力 38
１２－３－１－９．　システムフォーマット 39
１２－３－２．　アラーム･トラップ設定 39
１２－３－２－１．　アラーム設定@SDI 入力１ アンロックエラー....39
１２－３－２－２．　アラーム設定@リファレンスアンロックエラー 39
１２－３－２－３．　アラーム設定@LTC アンロックエラー....39
１２－３－２－４．　アラーム設定@AVDL アンロックエラー 39
１２－３－２－５．　アラーム設定@ファンエラー....39
１２－３－２－６．　トラップ設定@SDI 入力１ アンロックエラー....39
１２－３－２－７．　トラップ設定@リファレンスアンロックエラー 39
１２－３－２－８．　トラップ設定@LTC アンロックエラー....39
１２－３－２－９．　トラップ設定@AVDL アンロックエラー 39
１２－３－２－１０．　トラップ設定@ファンエラー....39
１２－３－３．　GPIO 設定....40
１２－３－３－１．　GPI1～GPI6 機能....40
１２－３－３－２．　GPO1～GPO6 機能....40
１２－３－４．　タイムコード設定....40
１２－３－４－１．　ATC(LTC)出力....40
１２－３－４－２．　ATC(VITC)出力 41
１２－３－４－３．　TC 選択 41
１２－３－４－４．　TC オフセット制御 41
１２－３－４－５．　TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム) 41
１２－３－４－６．　TC ロスト時動作 41
１２－３－４－７．　TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)....41
１２－３－４－８．　TC 初期値(BG1)～(BG8)、(BG フラグ) 41
１２－３－４－９．　TC フレーム初期値ロード 41
１２－３－４－１０．　TC ドロップフレーム有効....41
１２－３－４－１１．　TC 自走時初期値ロード 41

１２－３－４－１２．　TC 自走開始.....41
１２－３－５．　出力設定.....42
１２－３－５－１．　音声遅延(ms) 42
１２－３－５－２．　輝度(*0.1%) 42
１２－３－５－３．　彩度(*0.1%) 42
１２－３－５－４．　色相(*0.1deg).....42
１２－３－５－５．　クランプ 42
１２－３－６．　エンベデッドオーディオ設定.....43
１２－３－６－１．　出力エンベデッド･オーディオ Grp1～Grp8 制御 43
１２－３－６－２．　サブイメージ 1･オーディオ Grp 設定 43
１２－３－６－３．　サブイメージ 2･オーディオ Grp 設定 43
１２－３－６－４．　サブイメージ 3、4･オーディオ Grp 設定 44
１２－３－６－５．　自動プリセット切替制御 44
１２－３－６－６．　音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他 プリセット設定.....44
１２－３－６－７．　エンベ入力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB).....44
１２－３－６－８．　エンベ出力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB).....44
１２－３－７．　テストトーン設定 44
１２－３－７－１．　テストトーン 1、2 振幅(dBFS) 44
１２－３－７－２．　テストトーン 1、2 周波数 44
１２－３－８．　リマップ設定.....45
１２－３－８－１．　リマップ出力 CH01～CH32 選択.....45
１２－３－９．　ダウンミックス設定 46
１２－３－９－１．　ダウンミックス CH01～CH32 ソース選択.....47
１２－３－９－２．　ダウンミックス CH01～CH32 Lch 演算係数.....47
１２－３－９－３．　ダウンミックス CH01～CH32 Rch 演算係数 47
１２－３－９－４．　ダウンミックス CH01～CH32 Lch 符号 47
１２－３－９－５．　ダウンミックス CH01～CH32 Rch 符号.....47
１２－３－１０．　音声ミックス設定 47
１２－３－１０－１．　音声ミックス 1 CH01 ソース選択～音声ミックス 1 CH04 ソース選択.....47
１２－３－１０－２．　音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)～音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB) 48
１２－４．　再起動設定 48
１２－４－１．　再起動を許可.....48
１２－４－２．　コントローラーの再起動 48
１２－５．　ログ設定.....48
１２－５－１．　ログ件数 48
１２－５－２．　ログ更新時刻 48
１２－５－３．　SD カード状態 48
１２－５－４．　ログファイル初期化 48
１２－５－５．　ログ取得 49
１２－６．　製品情報 49

１２－６－１．　製品 ID 49
１２－６－２．　製品概要.....49
１２－６－３．　Version（Firmware）、Version（Hardware） 49
１２－６－４．　占有スロット数.....49
１２－６－５．　別名 49
１２－６－６．　シリアル番号.....49
１３．　各種タイミングについて.....50
１３－１．　AVDL モード引き込み範囲と入出力遅延 50
１３－２．　フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード入出力遅延.....51
１３－３．　バイパス・モード入出力遅延 52
１３－４．　AAM モードでの音声ミュート時間 52
１４．　コネクター　ピンアサイン表 53
１５．　定格および電気的特性 54
１６．　お問い合わせ 56

1．概要

●DFS5212-12G は C5000 モジュールシステムに搭載可能な 12G/6G/3G/HD-SDI 信号に対応した 1 入力 4 出力、個別のリファレンス入力、リモート入力を持つフレームシンクロナイザー・モジュールです。

●C5000 シリーズ システムフレーム C5002（2RU）, C5001（1RU）に搭載可能です。

●欧州 RoHS 指令に適合しております。

2．構成

DFS5212-12G は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品 名	型 名	数量	備 考
12G-SDI 対応 フレームシンクロナイザー・モジュール	DFS5212-12G	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3．機能

・12G(TYPE1)/6G(TYPE2)/ 3 G(レベル A/B)/HD-SDI に対応し、入力フォーマットを OLED に表示します。

・入力されているオーディオグループ、入力されているタイムコードを OLED に表示します。

・入力信号異状、リファレンス異常、AVDL モードでの引き込みエラー、LTC エラー、FAN エラーを OLED に表示し、1 つでもエラーがあるときにエラーLED が点灯します。（1 画面 3 行でスクロール表示します）表示例は、5-1. フロント、リア入出力及び LED、OLED 表示を参照してください。

・筐体 LTC-IN に入力されたタイムコードを、タイムコードパケットとして重畳することができます。

・エンベデッド・オーディオ 32ch に対応します。（HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで、6G/12G-SDI は SUB1:16ch,SUB2:16ch のトータル 32ch まで対応します。）

・リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス機能を装備しています。

・ゲイン調整は、-50.0dB～+50.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。

・任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。

・12 個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードによりプリセットの自動切り替えが可能です。

・接点入力によるプリセットの切替が可能です。

・音声遅延を 0～2sec まで 1ms ステップで付加することが可能です。

・輝度/色相/彩度等の調整が可能です。

・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリィデータはすべて通過します。（タイムコードは選択可能）

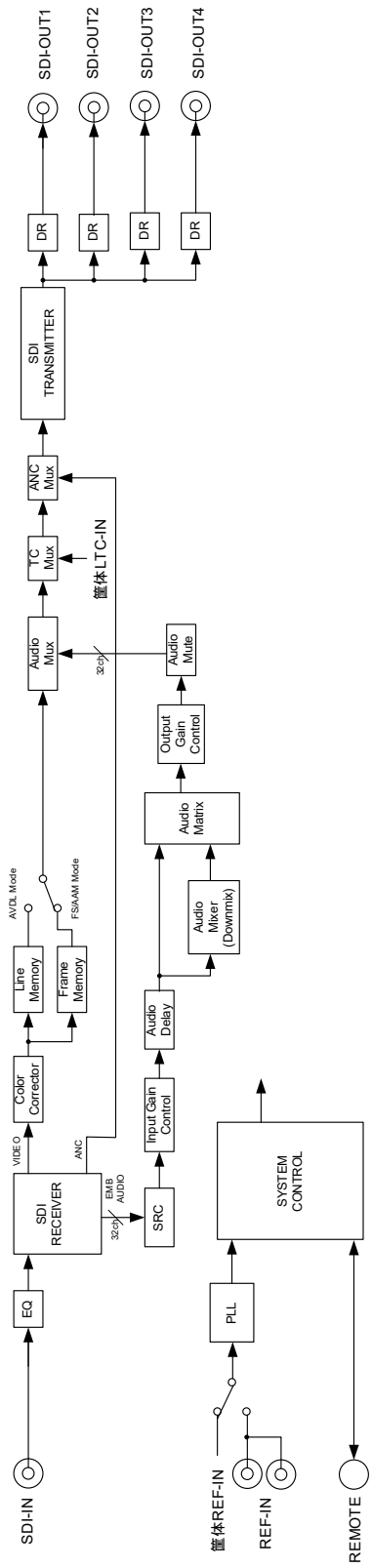
・パラメーターの設定はメニュー又は、SNMP、WEB より設定できます。

・各種設定の全項目の設定値と変化時刻、ステータスの変化と変化時刻をログに残し、WEB からダウンロードが可能です。ログは、最新の 10000 件を SD カードに保存しています。

・外部制御パネル(オプション）を接続することができます。（C5000 フレームとイーサネット接続）

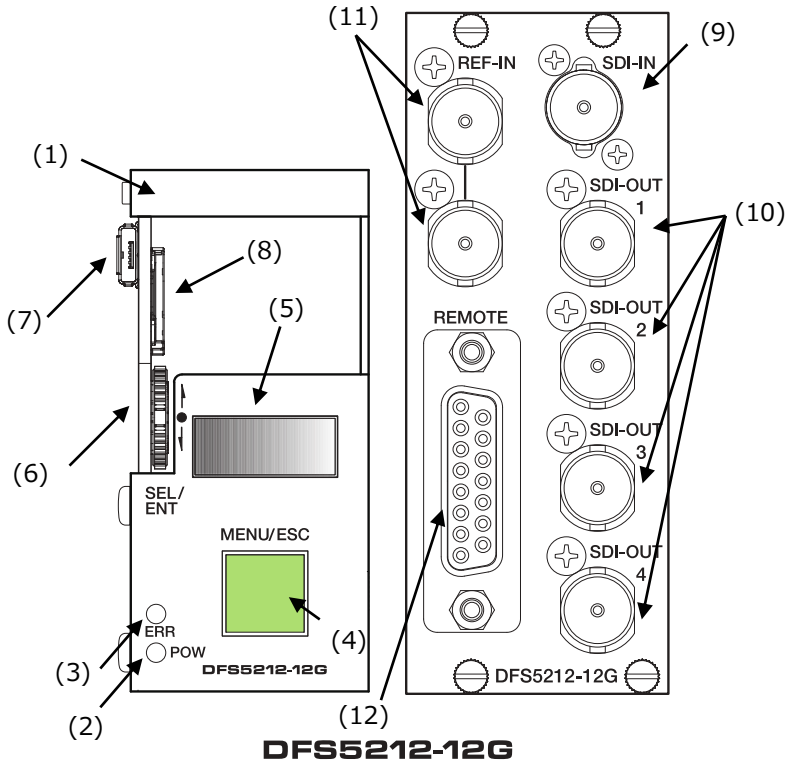
・SNMP に対応します。

４．ブロック図


SDI-IN
EQ
SDI RECEIVER
VIDEO
ANC
EMB AUDIO
32ch
Color Corrector
Line Memory
Frame Memory
AVDL Mode
FS/AAM Mode
Audio Mux
TC Mux
ANC Mux
SDI TRANSMITTER
DR
DR
DR
DR
SDI-OUT1
SDI-OUT2
SDI-OUT3
SDI-OUT4
筐体LTC-IN
32ch
Audio Mute
Output Gain Control
Audio Matrix
Audio Mixer (Downmix)
Audio Delay
Input Gain Control
SRC
SYSTEM CONTROL
PLL
筐体REF-IN
REF-IN
REMOTE

5．操作説明

5－1．フロント、リア入出力及び LED、OLED 表示



(1) フロントモジュール引き出し取っ手

(2) 電源ランプ　電源投入時　緑点灯

(3) エラーLED　エラー無し時消灯、エラー時　赤点灯

SDI,REF アンロック,AVDL モードでの引き込みエラー、FAN エラーが 1 つでもあった場合にエラーLED が赤点灯します。

(4) メニュー／エスケープスイッチ

通常モードでは、メニューモードへの遷移に使用し、メニューモードではメニューのキャンセル処理、又はメニューの上位階層への遷移に使用します。

(5) OLED 表示器

通常状態では、システムフォーマット、入力されている音声グループ、タイムコード、エラー内容(REF,FS,LTC,FAN)を表示し、メニューモードでは各種設定内容を表示します。

```
SDI 2160P59
GRP 12345678
01:16:23
```

```
REF 525I59
FS  NO ERR
LTC NO ERR
```

```
FS  NO ERR
LTC NO ERR
FAN NO ERR
```

```
SDI UNLOCK
GRP ________
00:00:00
```

メニュー選択スイッチを上下に動かす事により、ステータス画面をスクロールすることができます。又、一定時間経過するとステータス画面は自動スクロールします。

(6) メニュー選択スイッチ

上下に動かすことによりメニュー移動をし、押すことによりメニュー選択、パラメーター選択の決定を行います。

(7) Micro USB　（メンテナンス用）

(8) SD カードスロット

ログを格納する SD カードスロットです。（SD カードはマイクロ SD カードです）

(9) SDI 入力　　SDI-IN

(10) SDI 出力　　SDI-O1,2,3,4

フレームシンクロナイズされた SDI 出力が 4 分配出力されます。

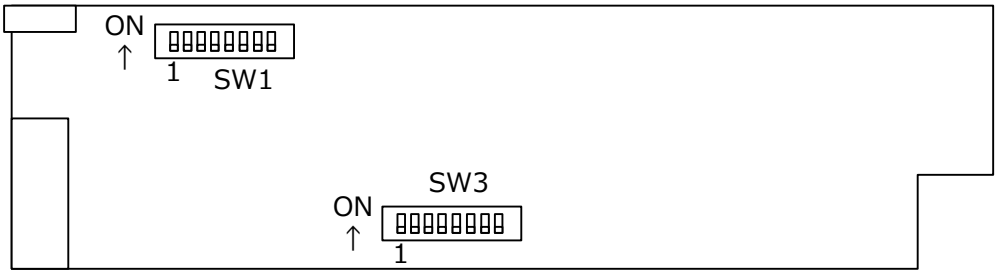
(11) リファレンス入力　　REF

DFS5212-12G には、モジュール専用のリファレンス入力とループスルー出力が装備されており、筐体に入力されたリファレンス入力に同期させるか、モジュールに入力されたリファレンスに同期させるか選択することができます。

(12) リモート GPIO コネクター　REMOTE

汎用の GPI　6 入力と汎用の GPO　6 出力です。プリセットの切替、フリーズ動作、スルー動作、音声ミュート、TC 設定等を行うことができます。

5－2．フロントモジュール設定



SW1

ビット	内容
1-8	Reserved（出荷時設定から変更しないでください。）

SW3　　出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

6．フレームの取付方法

6-1 “2 スロット”以上の空きを確認し、リアモジュールをスロットに挿入してリアモジュール固定ネジを 4 ヶ所ネジ止めします。

6-2 リアモジュールのスロット番号を確認して若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。(スロット 9,10 の場合、スロット 9 に挿入)

7．基本操作

1) 電源投入直後、及びメニューモードから通常モードに遷移したときに、モデル名、S/W,H/W バージョンを表示します。

```
DFS5212-12G
S/W: V1.0.0
H/W: V1.0.0
```

2) 一定時間経過後、システムフォーマット、入力されている音声グループ、タイムコード、エラー内容(REF,FS,LTC,FAN)のステータス表示となります。ステータス表示は、画面スクロールし表示します。

```
SDI 2160P59
GRP 12345678
01:16:23
```

```
REF 525I59
FS  NO ERR
LTC NO ERR
```

```
FS  NO ERR
LTC NO ERR
FAN NO ERR
```

```
SDI UNLOCK
GRP ________
00:00:00
```

エラーステータスは、以下の通りです。

SDI UNLOCK	：入力 SDI がアンロック状態であるとき。正常時は入力フォーマットを表示します。
REF ERR	：リファレンスがアンロック状態であるとき
AVDL UNLOCK	：FS モードが AVDL モードで、入力 SDI 信号が有効な範囲でない状態のとき
LTC ERR	：アンシラリータイムコード(ATC)が出力設定でかつ、TC が LTC 入力に設定されているときに LTC がアンロック状態であるとき、又は TC が ATC 入力に設定されているとき ATC が未検出状態であるとき
FAN ERR	：FAN の回転が停止したとき

これらのエラーが 1 つでも発生した場合、フロントのエラーLED が赤点灯します。

3)この通常モードでフロントパネルのメニュースイッチを 1 秒間長押しするとメニューモードに遷移します。

4)メニューモードではメニュー選択スイッチを上下に動かすことによりメニューを遷移し、メニュー選択スイッチを押すことにより下位メニューに遷移、又は設定値の決定を行います。

5)メニューモードではメニュースイッチを押すことによりメニュー上位階層に遷移し、最後に 1)の状態の通常モードに戻ります。また、メニューモードで 1 分間スイッチ操作がないと、自動的に通常モードに戻ります。

8．エンベデット音声チャンネルについて

入力 SDI 信号にエンベデットされたオーディオ信号は、サブイメージ 1（3 G レベル A、3G レベル B のリンク A,6G/12G の SUB1）に G1～G8 までエンベデットされていた場合は、サブイメージ 1 の 32 チャンネルを入力エンベデット・オーディオとして扱います。サブイメージ 1 に G5～G8 のエンベデット・オーディオが含まれていない場合は、サブイメージ 1 の G1～G4 を入力 CH01～CH16 とし、サブイメージ 2(3G レベル B のリンク B、6G/12G の SUB2)の G1～G4 を入力グループ G5～G8、CH17～CH32 として扱います。

9．メニュー構成

[]内はデフォルト値

- MENU
  - COMMON SETTING：プリセット間共通の設定を行います。
    - REF SEL [FRAME]：リファレンス信号を選択します
    - PHASE OFFSET H [0 pix]:SDI出力の水平位相を調整します。
    - PHASE OFFSET V [0 line]:SDI出力の垂直位相を調整します。
    - FS MODE [FS]:FSモードを設定します。
    - FREEZE CTL [FRAME]:フリーズ時の動作を設定します。
    - ANC OUT [ON]:オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットの出力を制御します。
    - SYSTEM FORMAT [AUTO]:SDI出力のシステムフォーマットを設定します。
    - TC SETTING :TC関係の設定メニューです
      - TC SEL [INT] :内蔵TCの動作を設定します。
      - OFFSET EN [OFF] :TC SEL=LTC/ATC時のオフセットの設定をします。
      - OFFSET HH [0] :オフセット値の時間を設定します。
      - OFFSET MM [0] :オフセット値の分を設定します。
      - OFFSET SS [0] :オフセット値の秒を設定します。
      - OFFSET FR [2] :オフセット値のフレームを設定します。
      - INIT HH [0] :TC SEL=INT時の初期値の時間を設定します。
      - INIT MM [0] :TC SEL=INT時の初期値の分を設定します。
      - INIT SS [0] :TC SEL=INT時の初期値の秒を設定します。
      - INIT FR [0] :TC SEL=INT時の初期値のフレームを設定します。
      - INIT BG1 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ1を設定します。
      - INIT BG2 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ2を設定します。
      - INIT BG3 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ3を設定します。
      - INIT BG4 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ4を設定します。
      - INIT BG5 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ5を設定します。
      - INIT BG6 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ6を設定します。
      - INIT BG7 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ7を設定します。
      - INIT BG8 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループ8を設定します。
      - INIT BGF [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリーグループフラグを設定します。
      - FR LOAD EN [OFF] :TC SEL=INT時のフレーム値のロードを設定します。
      - DROP FR EN [ON] :TC SEL=INT時のドロップフレームの設定をします。
      - LOST ACTION [AUTO RUN] :TC SEL=LTC/ATC時の入力ロス時の動作を設定します。
      - INIT LOAD [OFF] :TC SEL=INT時の初期値のロードを設定します。
      - INT RUN [OFF] :自走TCの開始、停止を設定します。
      - OUT ATC LTC EN [OFF] :ATC LTCの出力を設定します。
      - OUT ATC VITC EN [OFF] :ATC VITCの出力を設定します。
    - EMB SETTING :エンベデット・オーディオ関係の設定メニューです
      - EMB OUT G1 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ1の出力設定をします。
      - EMB OUT G2 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ2の出力設定をします。
      - EMB OUT G3 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ3の出力設定をします。
      - EMB OUT G4 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ4の出力設定をします。
      - EMB OUT G5 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ5の出力設定をします。
      - EMB OUT G6 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ6の出力設定をします。
      - EMB OUT G7 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ7の出力設定をします。
      - EMB OUT G8 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ8の出力設定をします。
      - SUB1 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB1イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。
      - SUB2 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB2イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。
      - SUB3 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB3イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。
      - SUB4 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB4イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。

MENUつづき

- AMODE PRECHG ：局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替動作の設定をします。
  - AUTO EN [OFF] :音声モードによる自動プリセット切替を設定します。
  - 1M PRESET [P1] :音声モード1M時のプリセット番号を設定します。
  - 2M PRESET [P2] :音声モード2M時のプリセット番号を設定します。
  - 3M PRESET [P3] :音声モード3M時のプリセット番号を設定します。
  - 4M PRESET [P4] :音声モード4M時のプリセット番号を設定します。
  - 1S PRESET [P5] :音声モード1S時のプリセット番号を設定します。
  - 2S PRESET [P6] :音声モード2S時のプリセット番号を設定します。
  - 1S+2M PRESET [P7] :音声モード1S+2M時のプリセット番号を設定します。
  - 5.1 PRESET [P8] :音声モード5.1時のプリセット番号を設定します。
  - 5.1+S PRESET [P9] :音声モード5.1+S時のプリセット番号を設定します。
  - OTHER PRESET [P10] :音声モードその他の時のプリセット番号を設定します。
- GPIO SETTING ：GPIOの設定を行います。
  - GPI1 FUNCTION [NON] :GPI1の機能を設定します。
  - :
  - GPI6 FUNCTION [NON] :GPI6の機能を設定します。
  - GPO1 FUNCTION [NON] :GPO1の機能を設定します。
  - :
  - GPO6 FUNCTION [NON] :GPO6の機能を設定します。

- PRESET SETTING ：プリセットに保存されるパラメータを設定します
  - LOAD PRESET [P1] :プリセットのロードを行います。
  - SAVE PRESET [P1] :プリセットのセーブを行います。
  - AUDIO GAIN :オーディオのゲインを設定します。
    - EMB01IN GAIN [0.0dB] : エンベデット入力CH01のゲインを設定します。
    - :
    - EMB32IN GAIN [0.0dB] : エンベデット入力CH32のゲインを設定します。
    - EMB01OUT GAIN [0.0dB] : エンベデット出力CH01のゲインを設定します。
    - :
    - EMB32OUT GAIN [0.0dB] : エンベデット出力CH32のゲインを設定します。
  - TEST TONE :テストトーンの設定をします。
    - TT1 AMP [-20dBFS] : テストトーン1の出力レベルを設定します。
    - TT2 AMP [-20dBFS] : テストトーン2の出力レベルを設定します。
    - TT1 FREQ [1000Hz] : テストトーン1の周波数を設定します。
    - TT2 FREQ [800Hz] : テストトーン2の周波数を設定します。
  - REMAP ：出力エンベデット・オーディオのリマップを行います。
    - REMAP CH01 [EMB01] :出力CH01へのオーディオ信号の割り当てを行います。
    - :
    - REMAP CH32 [EMB32] :出力CH32へのオーディオ信号の割り当てを行います。

MENUつづき

- DOWNMIX ：ダウンミックスの設定を行います。
  - SSEL CH01 [EMB01] :ダウンミックス演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
  - ：
  - SSEL CH32 [EMB32] :ダウンミックス演算するCH32のオーディオ信号の割り当てを行います。
  - LCOEF CH01 [0] :ダウンミックスLchを演算するCH01の係数を設定します。
  - ：
  - LCOEF CH32 [0] :ダウンミックスLchを演算するCH32の係数を設定します。
  - RCOEF CH01 [0] :ダウンミックスRchを演算するCH01の係数を設定します。
  - ：
  - RCOEF CH32 [0] :ダウンミックスRchを演算するCH32の係数を設定します。
  - LSIGN CH01 [+1.0] :ダウンミックスLchを演算するCH01の符号を設定します。
  - ：
  - LSIGN CH32 [+1.0] :ダウンミックスLchを演算するCH32の符号を設定します。
  - RSIGN CH01 [+1.0] :ダウンミックスRchを演算するCH01の符号を設定します。
  - ：
  - RSIGN CH32 [+1.0] :ダウンミックスRchを演算するCH32の符号を設定します。
- MIX ：任意MIXの設定を行います。
  - MIX1 SSEL CH01 [MUTE] :任意MIX1の演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
  - ：
  - MIX1 SSEL CH04 [MUTE] :任意MIX1の演算するCH04のオーディオ信号の割り当てを行います。
  - MIX1 COEF CH01 [0] :任意MIX1の演算するCH01の係数を設定します。
  - ：
  - MIX1 COEF CH04 [0] :任意MIX1の演算するCH04の係数を設定します。
  - ：
  - MIX8 SSEL CH01 [MUTE] :任意MIX8の演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
  - ：
  - MIX8 SSEL CH04 [MUTE] :任意MIX8の演算するCH04のオーディオ信号の割り当てを行います。
  - MIX8 COEF CH01 [0] :任意MIX8の演算するCH01の係数を設定します。
  - ：
  - MIX8 COEF CH04 [0] :任意MIX8の演算するCH04の係数を設定します。
- AUDIO DELAY [32ms] ：オーディオの遅延量を設定します。
- VIDEO ：カラーコレクションの設定をします。
  - LUMINANCE [100.0%] :輝度を設定します。
  - SATURATION [100.0%] :彩度を設定します。
  - HUE [0.0°] : 色相を設定します。
  - CLAMP EN [OFF] : 色値のクランプを行うか設定します。
- RETURN DEFAULT [NO] ：現在の設定をデフォルトに戻します。プリセットは初期化しません。
- FACTORY RESET [NO] ：プリセットの設定を含め工場出荷時の設定に戻します。

１０．メニュー説明

１０－１．COMMON SETTING:REF SEL

リファレンス信号を選択します。

FRAME　：フレームに入力されたリファレンス信号に同期します。

MODULE　：モジュールに入力されたリファレンス信号に同期します。

FREERUN：フリーランで動作します。

IN1　：入力信号に同期します。

１０－２．COMMON SETTING:PHASE OFFSET H

SDI 出力の水平位相を-2199～+2199 ピクセルの範囲で設定します。

１０－３．COMMON SETTING:PHASE OFFSET V

SDI 出力の垂直位相を-600～+600 ラインの範囲で設定します。

１０－４．COMMON SETTING:FS MODE

フレームシンクロナス・モードの設定を行います。

AVDL　：AVDLモードで動作します。出力タイミングの約10ライン前までの入力信号を引き込みます。

FS　：フレームシンクロナス・モードで動作します。最大1フレームの遅延が発生します。

AAM　：自動オーディオ・ミュート・モードで動作します。入力信号の切り替わりでのエラーを検出し出力音声にミュート処理を行います。

BYPASS　：入力信号に同期し最小遅延で出力します。PHASE OFFSET H/Vの位相調整は無効となります。

１０－５．COMMON SETTING:FREEZE　CTL

FS/AAM モードでの入力信号エラー時のフリーズ動作を設定します。

OFF　：フリーズ時に黒画面を出力します。

FIELD　：最後のフィールド映像でフリーズします。

FRAME　：最後のフレーム映像でフリーズします。

１０－６．COMMON SETTING:ANC OUT

エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリィー・パケットの出力を設定します。

OFF　：エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリィー・パケットを出力しません。

ON　：エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリィー・パケットを出力します。

１０－７．COMMON SETTING:SYSTEM FORMAT

SDI 出力のシステムフォーマットを設定します。

AUTO　：入力SDI信号のフォーマットを自動検出し、システムフォーマットとします。

その他、固定フォーマットで指定でき、指定できるフォーマットは以下の通りです。

7720P60, 720P59, 720P50, 720P30, 720P29, 720P25, 720P24, 720P23, 1080I60, 1080I59, 1080I50, 1080P30, 1080P29, 1080P25, 1080P24, 1080P23, 1080PSF24, 1080PSF23, 1080P60A, 1080P59A, 1080P50A, 1080P60B, 1080P59B, 1080P50B, 1080P30B, 1080P29B, 1080P25B, 1080P24B, 1080P23B, 1080PSF29B, 2160P30, 2160P29, 2160P25, 2160P24, 2160P23, 2160P60, 2160P59, 2160P50

注意：2160P50 で使用する場合は AUTO でなく、明示的に 2160P50 と必ず設定してください。

１０－８．COMMON SETTING:TC SETTING:TC SEL

内蔵 TC の動作を設定します。

INT　：自走でタイムコードを生成します。

LTC　：フレームに入力されたLTC信号に同期しタイムコードを生成します。

ATC　：SDI入力にエンベデットされたアンシラリィータイムコード(ATC)に同期しタイムコードを生成します。

１０－９．COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET EN

TC SEL=LTC/ATC 時のオフセットを設定します。

OFF　：オフセットしません。

ON　：OFFSET_HH～OFFSET_FRの値でオフセットします。

１０－１０．COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET　HH

オフセット値の時間を設定します。設定できる範囲は 0～23 です。

１０－１１．COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET　MM

オフセット値の分を設定します。設定できる範囲は 0～59 です。

１０－１２．COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET　SS

オフセット値の秒を設定します。設定できる範囲は 0～59 です。

１０－１３．COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET　FR

オフセット値のフレームを設定します。設定できる範囲は 0～29 です。

１０－１４．COMMON SETTING:TC SETTING:INIT　HH

TC SEL=INT 時の初期値の時間を設定します。設定できる範囲は 0～23 です。

１０－１５．COMMON SETTING:TC SETTING:INIT　MM

TC SEL=INT 時の初期値の分を設定します。設定できる範囲は 0～59 です。

１０－１６．COMMON SETTING:TC SETTING:INIT　SS

TC SEL=INT 時の初期値の秒を設定します。設定できる範囲は 0～59 です。

１０－１７．COMMON SETTING:TC SETTING:INIT　FR

TC SEL=INT 時の初期値のフレームを設定します。設定できる範囲は 0～29 です。

１０－１８．COMMON SETTING:TC SETTING:INIT　BG1～INIT　BG８

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ１～グループ８を設定します。設定できる範囲は 0～15 です。

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ８を設定します。設定できる範囲は 0～15 です。

１０－１９．COMMON SETTING:TC SETTING:INIT　BGF

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ・フラグを設定します。設定できる範囲は 0～7 です。

１０－２０．COMMON SETTING:TC SETTING:FR LOAD EN

TC SEL=INT 時の初期値のロード時にフレーム値をロードするか、しないかを設定します。

OFF　：フレーム値をロードしません。フレーム値はカレントの値が継続されます。

ON　：フレーム値INIT FRをロードします。

１０－２１．COMMON SETTING:TC SETTING:DROP FR EN

TC SEL=INT 時のドロップフレーム動作を設定します。

OFF　：ノン・ドロップフレームで動作します。

ON　：ドロップフレームで動作します。

１０－２２．COMMON SETTING:TC SETTING:LOST ACTION

TC SEL=LTC/ATC 時に、入力 LTC 又は ATC がアンロックとなった場合の動作を指定します。

AUTO RUN　：カウント動作を継続します。

STOP　：カウント動作を停止します。

NO PACKET　：タイムコードパケットを出力しません。

１０－２３．COMMON SETTING:TC SETTING:INIT LOAD

TC SEL=INT 時に、初期値をロードします。

OFF　：初期値をロードしません。

ON　：初期値をロードします。

１０－２４．COMMON SETTING:TC SETTING:INT RUN

自走 TC の開始、停止を設定します。

OFF　：停止します。

ON　：開始します。

１０－２５．COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC LTC EN

アンシラリィ・タイムコード ATC　LTC の出力を設定します。

OFF　：ATC　LTCを出力しません。

ON　：ATC　LTCを出力します。

１０－２６．COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC VITC EN

アンシラリィ・タイムコード ATC　VITC の出力を設定します。

OFF　：ATC　VITCを出力しません。

ON　：ATC　VITCを出力します。

１０－２７．COMMON SETTING:EMB SETTING:EMB OUT G1 EN～EMB OUT G8 EN

エンベデット・オーディオ・グループ 1～グループ 8 の出力を設定します。

OFF　：エンベデット・オーディオ・グループ1を出力しません。

ON　：エンベデット・オーディオ・グループ1を出力します。

１０－２８．COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB1 EMB

HD,3G レベル A、3G レベル B のリンク A,6G/12G サブイメージ 1 にエンベデットするグループを設定します。

G1-G4　：エンベデット・オーディオ・グループ1～4を重畳します。

G5-G8　：エンベデット・オーディオ・グループ5～8を重畳します。

G1-G8　：エンベデット・オーディオ・グループ1～8を重畳します。

OFF　：エンベデット・オーディを重畳しません。

１０－２９．COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB2 EMB

3G レベル B のリンク B,6G/12G サブイメージ 2 にエンベデットするグループを設定します。

G1-G4　：エンベデット・オーディオ・グループ1～4を重畳します。

G5-G8　：エンベデット・オーディオ・グループ5～8を重畳します。

G1-G8　：エンベデット・オーディオ・グループ1～8を重畳します。

OFF　　：エンベデット・オーディを重畳しません。

１０－３０．COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB3 EMB～SUB4 EMB

6G/12G サブイメージ 3,又は 4 にエンベデットするグループを設定します。

G1-G4　：エンベデット・オーディオ・グループ1～4を重畳します。

G5-G8　：エンベデット・オーディオ・グループ5～8を重畳します。

G1-G8　：エンベデット・オーディオ・グループ1～8を重畳します。

OFF　　：エンベデット・オーディを重畳しません。

１０－３１．COMMON SETTING:AMODE PRECHG:AUTO EN

局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替を設定します。

OFF　　：音声モードによる自動プリセット切替を行いません。

ON　　：音声モードによる自動プリセット切替を行います。

１０－３２．COMMON SETTING:AMODE PRECHG: 1 M PRESET～OTHER PRESET

音声モード 1 M～4M、1S,2S,1S+2M,5.1,5.1+S、その他時のプリセット番号を設定します。P1～P12 のプリセット番号を指定します。

１０－３３．COMMON SETTING:GPIO　SETTING:GPI1 FUNCTION～GPI6 FUNCTION

GPI1～GPI6 の機能を設定します。

P1～P12　　：プリセットのロードを行います。

FREEZE　　：出力SDIをフリーズします。

THROUGH　　：出力SDIに入力SDIをスルー出力します。

MUTE ON　　：出力音声をミュートします。

TC　SET　　：TC SET=INT時に初期値をロードします。

NON　　：何もしません。

１０－３４．COMMON SETTING:GPIO　SETTING:GPO1 FUNCTION～GPO6 FUNCTION

GPO1～GPO6 の機能を設定します。

P1～P12　　：指定プリセット時にONします。

FREEZE　　：出力フリーズ時にONします。

THROUGH　　：出力SDIに入力SDIをスルー出力時にONします。

MUTE ON　　：出力音声をミュート時にONします。

TC　SET　　：TC SET=INT時に初期値をロードしたときにONします。

SDI ERR　　：SDIエラー時にONします。

REF ERR　　：REFエラー時にONします。

LTC ERR　　：LTCエラー時にONします。

AVDL UNLOCK　　：AVDLモード時に引き込みエラー時にONします。

FAN　ERR　　：FAN動作停止時にONします。

NON　　：何もしません。

１０－３５．PRESET SETTING:LOAD PRESET

プリセットをロードします。プリセット番号 P1～P12 を指定します。

１０－３６．PRESET SETTING:SAVE PRESET

プリセットをセーブします。プリセット番号 P1～P12 を指定します。

１０－３７．PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01IN GAIN～EMB32IN GAIN

エンベデット・オーディオ入力 CH01～CH32 のゲイン値を設定します。設定範囲は-50.0～+50.0dB までで、0.1dB 単位で設定できます。

１０－３８．PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01OUT GAIN～EMB32OUT GAIN

エンベデット・オーディオ出力 CH01～CH32 のゲイン値を設定します。設定範囲は-50.0～+50.0dB までで、0.1dB 単位で設定できます。

１０－３９．PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 AMP,TT2 AMP

テストトーン 1,2 の出力レベルを設定します。設定範囲は-63～0dBFS までで、1dBFS 単位で設定できます。

１０－４０．PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 FREQ,TT2 FREQ

テストトーン 1,2 の周波数を設定します。設定できる周波数は 400Hz,800Hz,1000Hz,2000Hz です。

１０－４１．PRESET SETTING:REMAP:REMAP CH01～REMAP CH32

エンベデット・オーディオ出力 CH01～CH32 のオーディオ信号の割り当てを設定します。

EMB01～EMB32	：エンベデット・オーディオ入力CH01～CH32。
TT1,TT2	：テストトーン1,2。
DMX_L,DMX_R	：ダウンミックス音声。
MIX1～MIX8	：任意MIX音声1～8。
MUTE	：無音。

１０－４２．PRESET SETTING:DOWNMIX:SSEL CH01～SSEL CH32

ダウンミックス演算する CH01～CH32 のオーディオ信号の割り当てを設定します。

EMB01～EMB32	：エンベデット・オーディオ入力CH01～CH32。
TT1,TT2	：テストトーン1,2。
MUTE	：無音。

１０－４３．PRESET SETTING:DOWNMIX:LCOEF CH01～LCOEF CH32

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。

１０－４４．PRESET SETTING:DOWNMIX:RCOEF CH01～RCOEF CH32

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。

１０－４５．PRESET SETTING:DOWNMIX:LSIGN CH01～LSIGN CH32

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。+1.0 又は-1.0 を指定します。

１０－４６．PRESET SETTING:DOWNMIX:RSIGN CH01～RSIGN CH32

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。+1.0 又は-1.0 を指定します。

１０－４７．PRESET SETTING:MIX:MIX1 SSEL CH01～MIX1 SSEL CH04

任意 MIX1 を演算する CH01～CH04 のオーディオ信号の割り当てを設定します。MIX2～MIX8 も同様です。

EMB01～EMB32	：エンベデット・オーディオ入力CH01～CH32。
TT1,TT2	：テストトーン1,2。

MUTE　　：無音。

１０－４８．PRESET SETTING:MIX:MIX1 COEF CH01～MIX1 COEF CH04

任意 MIX1 を演算する CH01～CH04 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。MIX2～MIX8 も同様です。

１０－４９．PRESET SETTING:AUDIO DELAY

オーディオの遅延量を設定します。設定範囲は 0～2000ms で、1ms 単位で設定できます。

１０－５０．PRESET SETTING:VIDEO:LUMINANCE

輝度を設定します。設定範囲は 0.0～200.0%まで、0.1%ステップで設定できます。

１０－５１．PRESET SETTING:VIDEO:SATURATION

彩度を設定します。設定範囲は 0.0～200.0%まで、0.1%ステップで設定できます。

１０－５２．PRESET SETTING: VIDEO:HUE

色相を設定します。設定範囲は-180.0～+180.0°まで、0.1°ステップで設定できます。

１０－５３．PRESET SETTING: VIDEO:CLAMP EN

カラーコレクション後の色値のクランプを行うか行わないかを設定します。

OFF　　：クランプしません。

ON　　：クランプします。

１０－５４．RETURN FEFAULT

現在の設定をデフォルトに戻します。プリセットの初期化は行いません。

１０－５５．FACTORY RESET

プリセットの設定を含め工場出荷時の設定に戻します。

１１．SNMP

DFS5212-12G は SNMP による監視が可能です。

DFS5212-12G は[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1～20、C5001 では 1～6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。Trap 項目の◯は、Get 項目の値が Trap に付加されるオブジェクトであることを示しています。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	***DFS5212-12G:44***	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	***DFS5212-12GD : 2 slot 12G/6G/3G/HD-SDI Frame Synchronizer Module***	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	***2***	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エリアス名	–	
SerialNo 10.1.16.index	OCTET STRINGS	RO	16	シリアル・ナンバー	–	
RefSel 20.1.102.index	INTEGER	R/W	4	リファレンス信号選択	***frame=1***, module=2, freeRun=3, in1=4	
PhaseOffsetH 20.1.103.index	INTEGER	R/W	4	水平方向出力位相	-2199～***0***～2199 (pixel)	
PhaseOffsetV 20.1.104.index	INTEGER	R/W	4	垂直方向出力位相	-600～***0***～+600 (line)	
FsMode 20.1.110.index	INTEGER	R/W	4	FS モード	avdl=1, ***fs=2***, aam=3, bypass=4	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
FreezeCtl 20.1.111.index	INTEGER	R/W	4	フリーズ時の動作制御(OFF は黒画面出力)	off=1, field=2, ***frame=3***	
AncOut 20.1.112.index	INTEGER	R/W	4	アンシラリィ制御	***throuOut=1***, inhibit=2	
SysFormat 20.1.113.index	INTEGER	R/W	4	システムフォーマット	***Auto=1***, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=23, 1080PSF23=24, f1080P60A=25, f1080P59A=26, f1080P50A=27, f1080P60B=28, f1080P59B=29, f1080P50B=30, f1080P30B=31, f1080P29B=32, f1080P25B=33, f1080P24B=34, f1080P23B=35, f1080PSF29B=37, f2160P30=47, f2160P29=48, f2160P25=49, f2160P24=50, f2160P23=51, f2160P60=57, f2160P59=58, f2160P50=59	
OutAtcLtcEn 20.1.121.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(LTC)の有効／無効	***off=1***, on=2	
OutAtcVitcEn 20.1.122.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(VITC)の有効／無効	***off=1***, on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	**int=1**, ltc=2, in1Atc=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	***off=1***, on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	***0***～23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	***0***～59	
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	***0***～59	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	***0***～29	
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	***autoRun=1***, stop=2, noPacket=3	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	***0***～23	
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	***0***～59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	***0***～59	
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	***0***～29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	***0***～15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	***0***～15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	***0***～15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	***0***～15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	***0***～15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	***0***～15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	***0***～15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	***0***～15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	***0***～7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定	***off=1***, on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効／無効（自走時のみ有効）	off=1, ***on=2***	
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設定	***off=1***, on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	***off=1***, on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
EmbOutG1En 20.1.200.index ： EmbOutG8En 20.1.207.index	INTEGER	R/W	4	出力エンベデッドオーディオグループ制御	EmbOutG1En～EmbOutG4En off=1, ***on=2*** EmbOutG5En～EmbOutG8En ***off=1***, on=2	
Sub1Assign 20.1.208.index ： Sub4Assign 20.1.211.index	INTEGER	R/W	4	サブイメージへのエンベデット・オーディオグループ出力設定	***g1-g4=1***, g5-g8=2、 g1-g8=3, noAssign=4	
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセット切替制御	***off=1***, on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリセット	***p01=1***～p12=12	
Gpi1Func 20.1.240.index ： Gpi6Func 20.1.245.index	INTEGER	R/W	4	GPI 機能選択	p01=1～p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, ***non=17***	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Gpo1Func 20.1.250.index ： Gpo6Func 20.1.255.index	INTEGER	R/W	4	GPO 機能選択	p01=1～12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, sdiErr=17, refErr=18, ltcErr=19, avdlErr=20, fanerr=21, ***non=22***	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1～p12=12, ***non=13***	
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1～p12=12, ***non=13***	
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index ： CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500～***0***～500	
CurrentEmb01OutGain 20.1.350.index ： CurrentEmb32OutGain 20.1.381.index	INTEGER	R/W	4	エンベ出力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500～***0***～500	
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dBFS)	-63～***-20***～0	
CurrentTT2Amp 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dBFS)	-63～***-20***～0	
CurrentTT1Freq 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, ***f1kHz=3***, f2kHz=4	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, ***f800Hz=2***, f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index ： CurrentRemapCh32 20.1.441.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択（外部出力）	***emb01=1～emb32=32***, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53～mix8=60, non=64 (初期値はエンベスルー設定)	
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index ： CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソース選択	***emb01=1～emb32=32***, tt1=49, tt2=50, non=64 (初期値はエンベスルー設定)	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentDmxLCoefCh01 20.1.532.index ： CurrentDmxLCoefCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126～0, ***Zero=-127***	
CurrentDmxRCoefCh01 20.1.564.index ： CurrentDmxRCoefCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126～0, ***Zero=-127***	
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index ： CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	-1,***1***	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index ： CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	-1,***1***	
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index ： CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50***, non=64***	
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index ： CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	
CurrentMix2SSelCh01 20.1.708.index ： CurrentMix2SSelCh04 20.1.711.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50, ***non=64***	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix2CoefCh01 20.1.712.index ： CurrentMix2CoefCh04 20.1.715.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	
CurrentMix3SSelCh01 20.1.716.index ： CurrentMix3SSelCh04 20.1.719.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50, ***non=64***	
CurrentMix3CoefCh01 20.1.720.index ： CurrentMix3CoefCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.724.index ： CurrentMix4SSelCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50, ***non=64***	
CurrentMix4CoefCh01 20.1.728.index ： CurrentMix4CoefCh04 20.1.731.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	
CurrentMix5SSelCh01 20.1.732.index ： CurrentMix5SSelCh04 20.1.735.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50, ***non=64***	
CurrentMix5CoefCh01 20.1.736.index ： CurrentMix5CoefCh04 20.1.739.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix6SSelCh01 20.1.740.index ： CurrentMix6SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス６　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50, ***non=64***	
CurrentMix6CoefCh01 20.1.744.index ： CurrentMix6CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス６　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	
CurrentMix7SSelCh01 20.1.748.index ： CurrentMix7SSelCh04 20.1.751.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス７　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50, ***non=64***	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.752.index ： CurrentMix7CoefCh04 20.1.755.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス７　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	
CurrentMix8SSelCh01 20.1.756.index ： CurrentMix8SSelCh04 20.1.759.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス８　CH ソース選択	emb01=1～emb32=32, tt1=49, tt2=50, ***non=64***	
CurrentMix8CoefCh01 20.1.760.index ： CurrentMix8CoefCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス８　CH 係数 (x10dB を設定)	-126～0,***Zero=-127***	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0～***32***～2000	
CurrentLuminance 20.1.790.index	INTEGER	R/W	4	輝度設定(%) X10 倍の値を設定	0～***1000***～2000	
CurrentSaturation 20.1.791.index	INTEGER	R/W	4	彩度設定(%) X10 倍の値を設定	0～***1000***～2000	
CurrentHue 20.1.792.index	INTEGER	R/W	4	色相設定(度) X10 倍の値を設定	-1800～***0***～1800	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ClampEn 20.1.793.index	INTEGER	R/W	4	色値のクランプ設定	***disable=1***, enable=2	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI　IN1 アンロックアラームイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
AlarmEnRefUnlock 20.1.804.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックアラームイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	Ltc アンロックアラームイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
AlarmEnAvdlUnlock 20.1.806.index	INTEGER	R/W	4	AVDL アンロックアラームイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
AlarmEnFanError 20.1.809.index	INTEGER	R/W	4	ファンエラーアラームイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI　IN1 アンロックトラップイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
TrapEnRefUnlock 20.1.853.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックトラップイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックトラップイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
TrapEnAvdlUnlock 20.1.855.index	INTEGER	R/W	4	AVDL アンロックトラップイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
TrapEnFanError 20.1.859.index	INTEGER	R/W	4	ファンエラートラップイネーブル	disable=1, ***enable=2***	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	***no=1***, yes=2	
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	リブート許可	***no=1***, yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	リブート実行	***no=1***, yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0～10000	
LogUpdateTime 29.1.11.index	INTEGER	RO	4	ログ変更時刻	–	
LogSdState 29.1.20.index	INTEGER	RO	4	SD Card 状態	0=NoExist, 1=mounting, 2=reading, 3=idle ※Web から行う Log 取得は idle 時のみ可能です。	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログファイル初期化	***no=1***, yes=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
In1 30.1.2.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unknown=1, f720P60=2, f720P59=3, f720P50=4, f720P30=5, f720P29=6, f720P25=7, f720P24=8, f720P23=9, f1080I60=10, f1080I59=11, f1080I50=12, f1080P30=13, f1080P29=14, f1080P25=15, f1080P24=16, f1080P23=17, f1080PSF24=18, f1080PSF23=19, f1080P60A=20, f1080P59A=21, f1080P50A=22, f1080P60B=23, f1080P59B=24, f1080P50B=25, f1080P29B=26, f1080PSF29B=27, f2160P60=28, f2160P59=29, f2160P50=30	
Ref 30.1.3.index	INTEGER	RO	4	REF のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.10.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmRefUnlock 30.1.11.index	INTEGER	RO	4	Ref アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.12.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmFan 30.1.13.index	INTEGER	RO	4	FAN アラームステータス	normal=1, alarm=2	○
AlarmAvdlUnlock 30.1.14.index	INTEGER	RO	4	AVDL アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○

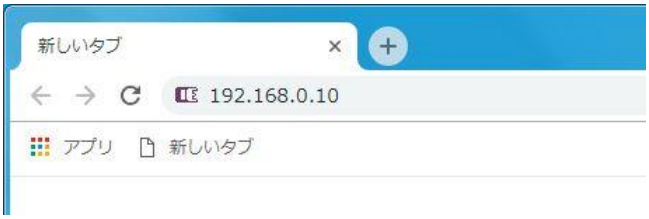
トラップオブジェクト識別子は、DFS5212-12G は[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.44.0.]の後に、以下のオブジェクト識別子でトラップが発行されます。各トラップは、index(Slot 情報)を持つ SNMP 設定情報が添付されます。

Trap 番号	内容
TrapSDIIn1Lock 1	SDI In1 がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.10.index)
TrapRefLock 2	リファレンスがロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmRefUnlock (30.1.11.index)
TrapLtcLock 3	LTC がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.12.index)
TrapFanRecover 4	FAN が正常に回転したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmFan (30.1.13.index)
TrapAvdlLock 5	AVDL が正常動作したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmAVDLUnlock (30.1.14.index)
TrapSDIIn1Unlock 11	SDI In1 がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.10.index)
TrapRefUnlock 12	リファレンスがアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmRefUnlock (30.1.11.index)
TrapLtcUnlock 13	LTC がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.12.index)
TrapFanAlarm 14	FAN が停止したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmFan (30.1.13.index)
TrapAvdlUnlock 15	AVDL が引き込み範囲から外れたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmAVDLUnlock (30.1.14.index)

１２．WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

C5002-20/C5001-20 フレームの IP アドレス出荷時設定は、”192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

１２－１．モジュール画面

DFS5212-12G が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。

ステータスには、各種モジュールの状態を、各種設定には、モジュールに設定できる項目を、製品情報には、モジュール名、プログラムバージョン等の製品情報を表示します。‘＋’マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。

１２－２．ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。

１２－２－１．SDI 入力 1

SDI-IN に入力されている信号フォーマットを表示します。アンロック /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B /1080P30B /1080P29B /1080P25B /1080P24B /1080P23B /1080PSF29B /2160P30 /2160P29 /2160P25 /2160P24 /2160P23 /2160P60 /2160P59 /2160P50 と表示します。

１２－２－２．リファレンス

リファレンスに入力されている信号のフォーマットを表示します。アンロック /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080i59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 と表示されます。

１２－２－３．LTC

LTC の状態を、ロック、アンロックから表示します。

１２－２－４．ファン

FAN の回転数により、エラー状態かエラーなし状態を表示します。

１２－２－５．AVDL

AVDL の状態を、ロック、アンロックから表示します。

１２－３．各種設定

各種設定には、モジュールに設定可能な項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメーターを選択するか、値を直接入力することにより設定します。設定した時点で、モジュールには設定が反映されます。更新ボタンのあるプリセットの読み出しと、書き込みはプルダウンメニューでプリセット番号を選んだ時点では動作せず、更新ボタンのクリック時に指定されたプリセット番号の読み出し、書き込みを行います。

１２－３－１．基本設定

１２－３－１－１．プリセットロード

EEPROM 内のプリセットを読み出します。読み出す前に書き込んでおく必要があります。プリセット 1～12 を選択して更新ボタンのクリックで読み出します。

１２－３－１－２．プリセットセーブ

現在の設定情報を EEPROM のプリセットに書き込みます。プリセット 1～12 を選択して更新ボタンのクリックで書き込みます。

１２－３－１－３．初期設定に戻す

戻すボタンをクリックすると各種設定を初期状態にします。ただし、この操作だけでは現在のモジュール状態が初期状態になるだけで SDCARD に設定情報を書き込んでいませんので、再度電源投入すると、SDCARD に設定されている設定値で起動されます。

１２－３－１－４．リファレンス選択

リファレンス信号を選択します。

フレーム　　：C5000 フレームに入力されたリファレンス信号に同期します。
モジュール　　：REF-IN（本モジュール）に入力されたリファレンス信号に同期します。
フリーラン　　：フリーランで動作します。
入力 1　　：SDI-IN 入力信号に同期します。

１２－３－１－５．水平位相、垂直位相

SDI 出力の水平位相、垂直位相を設定します。

水平位相　　：-2199～+2199 ピクセル。
垂直位相　　：-600～+600 ライン。

１２－３－１－６．FS モード

シンクロナス・モードの設定を行います。

AVDL モード　　：AVDL モードで動作します。
　　出力タイミングの約 10 ライン前までの入力信号を引き込みます。
フレームシンクロナス・モード　：フレームシンクロナス・モードで動作します。最大 1 フレームの遅延が発生します。
自動音声ミュートモード　　：自動オーディオ・ミュート・モードで動作します。
　　入力信号の切り替わりでのエラーを検出し出力音声にミュート処理を行います。
バイパス・モード　　：入力信号に同期し最小遅延で出力します。水平位相、垂直位相の調整は無効となります。

１２－３－１－７．フリーズ動作

フレームシンクロナス・モード/自動音声ミュートモードでの入力信号エラー時のフリーズ動作を設定します。

オフ　　：フリーズ時に黒画面を出力します。
フィールド　　：最後のフィールド映像でフリーズします。
フレーム　　：最後のフレーム映像でフリーズします。

１２－３－１－８．アンシラリー出力

エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリィー・パケットの出力を設定します。

スルー　　：エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリィー・パケットを出力します。

オフ　　：エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリィー・パケットを出力しません。

１２－３－１－９．システムフォーマット

SDI 出力のシステムフォーマットを設定します。

AUTO：入力 SDI 信号のフォーマットを自動検出し、システムフォーマットとします。

その他、固定フォーマットで指定でき、指定できるフォーマットは以下の通りです。

720P60, 720P59, 720P50, 720P30, 720P29, 720P25, 720P24, 720P23, 1080I60, 1080I59, 1080I50, 1080P30, 1080P29, 1080P25, 1080P24, 1080P23, 1080PSF24, 1080PSF23, 1080P60A, 1080P59A, 1080P50A, 1080P60B, 1080P59B, 1080P50B, 1080P30B, 1080P29B, 1080P25B, 1080P24B, 1080P23B, 1080PSF29B, 2160P30, 2160P29, 2160P25, 2160P24, 2160P23, 2160P60, 2160P59, 2160P50

注意：2160P60, 2160P50 で使用する場合は AUTO でなく、明示的に 2160P60, 2160P50 と必ず設定してください。

１２－３－２．アラーム・トラップ設定

１２－３－２－１．アラーム設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－２．アラーム設定@リファレンスアンロックエラー

リファレンスアンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－３．アラーム設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－４．アラーム設定@AVDL アンロックエラー

AVDL アンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－５．アラーム設定@ファンエラー

空冷 FAN エラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－６．トラップ設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－７．トラップ設定@リファレンスアンロックエラー

リファレンスアンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－８．トラップ設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－９．トラップ設定@AVDL アンロックエラー

AVDL アンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－２－１０．トラップ設定@ファンエラー

空冷 FAN エラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

１２－３－３．GPIO 設定

１２－３－３－１．GPI1～GPI6 機能

GPI1～GPI6 の機能を設定します。

プリセット 1～12	：指定プリセットをロードします。
フリーズ	：出力 SDI をフリーズします。
スルー	：出力 SDI に入力 SDI をスルーします。
ミュート	：出力音声をミュートします。
TC セット	：TC 選択が内部 TC の時に初期値をロードします。
なし	：何も動作しません。

１２－３－３－２．GPO1～GPO6 機能

GPO1～GPO6 の機能を設定します。

プリセット 1～12	：指定プリセット時に ON します。
フリーズ	：出力フリーズ時に ON します。
スルー	：出力 SDI に入力 SDI をスルー出力時に ON します。
ミュート	：出力音声をミュート時に ON します。
TC セット	：TC 選択が内部 TC 時に初期値をロードしたときに ON します。
SDI エラー	：SDI エラー時に ON します。
リファレンスエラー	：REF エラー時に ON します。
LTC エラー	：LTC エラー時に ON します。
AVDL エラー	：AVDL モード時に引き込みエラー時に ON します。
ファンエラー	：ファン動作停止時に ON します。
なし	：何も動作しません。

１２－３－４．タイムコード設定

１２－３－４－１．ATC(LTC)出力

アンシラリィー・タイムコード ATC LTC の出力を設定します。

オフ	：ATC LTC を出力しません。

オン　　：ATC LTC を出力します。

１２－３－４－２．ATC(VITC)出力

アンシラリィー・タイムコード ATC VITC の出力を設定します。

オフ　　：ATC VITC を出力しません。

オン　　：ATC VITC を出力します。

１２－３－４－３．TC 選択

内蔵 TC の動作を設定します。

内部 TC　　：自走でタイムコードを生成します。

フレーム入力 TC ：フレームに入力された LTC 信号に同期しタイムコードを生成します。

ATC　　：SDI 入力にエンベデットされたアンシラリィータイムコード(ATC)に同期しタイムコードを生成します。

１２－３－４－４．TC オフセット制御

TC 選択が、フレーム入力 TC あるいは ATC の時にオフセットするかを設定します。

オフ　　：オフセットしません。

オン　　：TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)の値でオフセットします。

１２－３－４－５．TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC オフセット値を、時(0～23)、分(0～59)、秒(0～59)、フレーム(0～29)で設定します。

１２－３－４－６．TC ロスト時動作

TC 選択が、フレーム入力 TC あるいは ATC 時に、入力 LTC あるいは ATC がアンロックとなった場合の動作を指定します。

自走　　：自走でカウント動作を継続します。

停止　　：カウント動作を停止します。

パケットなし　　：タイムコードパケットを出力しません。

１２－３－４－７．TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC 選択が、内部 TC の時に初期値を、時(0～23)、分(0～59)、秒(0～59)、フレーム(0～29)で設定します。

１２－３－４－８．TC 初期値(BG1)～(BG8)、(BG フラグ)

TC 選択が、内部 TC 時のバイナリーグループ１～グループ８を設定します。設定できる範囲は 0～15 です。

また、バイナリーグループ・フラグ(BG フラグ)を設定します。設定できる範囲は 0～7 です。

１２－３－４－９．TC フレーム初期値ロード

TC 選択が、内部 TC の時、初期値のロード時にフレーム値をロードするか、しないかを設定します。

オフ　　：フレーム値をロードしません。フレーム値はカレントの値が継続されます。

オン　　：TC 初期値(フレーム)をロードします。

１２－３－４－１０．TC ドロップフレーム有効

TC 選択が、内部 TC の時にドロップフレーム動作を設定します。

オフ　　：ノン・ドロップフレームで動作します。

オン　　：ドロップフレームで動作します。

１２－３－４－１１．TC 自走時初期値ロード

TC 選択が、内部 TC の時に初期値をロードするか、しないかを設定します。

オフ　　：初期値をロードしません。

オン　　：初期値をロードします。

１２－３－４－１２．TC 自走開始

自走 TC の開始、停止を設定します。

オフ　　：停止します。

オン　　：開始します。

１２－３－５．出力設定

１２－３－５－１．音声遅延(ms)

オーディオの遅延量を設定します。設定範囲は 0～2000ms で、1ms 単位で設定できます。

１２－３－５－２．輝度(*0.1%)

輝度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0～2000(200.0%)です。0.1%単位で設定できます。

１２－３－５－３．彩度(*0.1%)

彩度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0～2000(200.0%)です。0.1%単位で設定できます。

１２－３－５－４．色相(*0.1deg)

色相調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、-1800(-180.0°)～1800(+180.0°)です。0.1°単位で設定できます。

１２－３－５－５．クランプ

色値のクランプを行う（有効）か、しないか（無効）を設定します。

１２－３－６．エンベデッドオーディオ設定

１２－３－６－１．出力エンベデッド・オーディオ Grp1～Grp8 制御

エンベデット・オーディオ・グループ１～グループ８の出力を設定します。

オフ　：エンベデット・オーディオ・グループ n を出力しません。

オン　：エンベデット・オーディオ・グループ n を出力します。

１２－３－６－２．サブイメージ１・オーディオ Grp 設定

HD、3G レベル A、3G レベル B のリンク A、6G/12G サブイメージ１にエンベデットするグループを設定します。

グループ 1-4　　：エンベデット・オーディオ・グループ 1～4 を重畳します。

グループ 5-8　　：エンベデット・オーディオ・グループ 5～8 を重畳します。

グループ 1-8　　：エンベデット・オーディオ・グループ 1～8 を重畳します

なし　　：エンベデット・オーディオを重畳しません。

１２－３－６－３．サブイメージ２・オーディオ Grp 設定

3G レベル B のリンク B、6G/12G サブイメージ２にエンベデットするグループを設定します。

グループ 1-4　　：エンベデット・オーディオ・グループ 1～4 を重畳します。

グループ 5-8　　：エンベデット・オーディオ・グループ 5～8 を重畳します。

グループ 1-8　　：エンベデット・オーディオ・グループ 1～8 を重畳します

なし　　：エンベデット・オーディオを重畳しません。

１２－３－６－４．サブイメージ 3、4・オーディオ Grp 設定

6G/12G サブイメージ 3 あるいは 4 にエンベデットするグループを設定します。

グループ 1-4　　：エンベデット・オーディオ・グループ 1～4 を重畳します。

グループ 5-8　　：エンベデット・オーディオ・グループ 5～8 を重畳します。

グループ 1-8　　：エンベデット・オーディオ・グループ 1～8 を重畳します

なし　　：エンベデット・オーディオを重畳しません。

１２－３－６－５．自動プリセット切替制御

局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替を設定します。

オフ　：音声モードによる自動プリセット切替を行いません。

オン　：音声モードによる自動プリセット切替を行います。

１２－３－６－６．音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他 プリセット設定

音声モード 1 M～4M、1S、2S、1S+2M、5.1、5.1+S、その他 時のプリセット番号を設定します。プリセット 1～12 を選択します。

１２－３－６－７．エンベ入力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB)

エンベデッド音声入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は -500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

１２－３－６－８．エンベ出力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB)

エンベデッド音声出力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は -500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

１２－３－７．テストトーン設定

１２－３－７－１．テストトーン 1、2 振幅(dBFS)

テストトーン 1、2 の出力レベルを設定します。設定範囲は、-63～0dBFS までで、1dBFS 単位で設定できます。

１２－３－７－２．テストトーン 1、2 周波数

テストトーン 1、2 の周波数を設定します。設定できる周波数は、400Hz、800Hz、1kHz、2kHz です。

１２－３－８．リマップ設定

１２－３－８－１．リマップ出力 CH01～CH32 選択

エンベット･オーディオ出力 CH01～CH32 のオーディオ信号を割り当てます。

EmbIn CH01～CH32	：エンベット･オーディオ CH01～CH32
Test Tone1、2	：テストトーン 1、2
Downmix L、R	：ダウンミックス音声
Mix1～8	：任意 MIX 音声 1～8
Mute	：無音

１２－３－９．ダウンミックス設定

ダウンミックス設定 [-]　160項目

ダウンミックスCH01 ソース選択	EmbIn CH01	ダウンミックスCH02 ソース選択	EmbIn CH02	ダウンミックスCH03 ソース選択	EmbIn CH03	ダウンミックスCH04 ソース選択	EmbIn CH04
ダウンミックスCH05 ソース選択	EmbIn CH05	ダウンミックスCH06 ソース選択	EmbIn CH06	ダウンミックスCH07 ソース選択	EmbIn CH07	ダウンミックスCH08 ソース選択	EmbIn CH08
ダウンミックスCH09 ソース選択	EmbIn CH09	ダウンミックスCH10 ソース選択	EmbIn CH10	ダウンミックスCH11 ソース選択	EmbIn CH11	ダウンミックスCH12 ソース選択	EmbIn CH12
ダウンミックスCH13 ソース選択	EmbIn CH13	ダウンミックスCH14 ソース選択	EmbIn CH14	ダウンミックスCH15 ソース選択	EmbIn CH15	ダウンミックスCH16 ソース選択	EmbIn CH16
ダウンミックスCH17 ソース選択	EmbIn CH17	ダウンミックスCH18 ソース選択	EmbIn CH18	ダウンミックスCH19 ソース選択	EmbIn CH19	ダウンミックスCH20 ソース選択	EmbIn CH20
ダウンミックスCH21 ソース選択	EmbIn CH21	ダウンミックスCH22 ソース選択	EmbIn CH22	ダウンミックスCH23 ソース選択	EmbIn CH23	ダウンミックスCH24 ソース選択	EmbIn CH24
ダウンミックスCH25 ソース選択	EmbIn CH25	ダウンミックスCH26 ソース選択	EmbIn CH26	ダウンミックスCH27 ソース選択	EmbIn CH27	ダウンミックスCH28 ソース選択	EmbIn CH28
ダウンミックスCH29 ソース選択	EmbIn CH29	ダウンミックスCH30 ソース選択	EmbIn CH30	ダウンミックスCH31 ソース選択	EmbIn CH31	ダウンミックスCH32 ソース選択	EmbIn CH32
ダウンミックスCH01 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH02 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH03 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH04 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH05 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH06 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH07 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH08 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH09 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH10 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH11 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH12 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH13 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH14 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH15 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH16 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH17 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH18 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH19 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH20 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH21 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH22 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH23 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH24 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH25 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH26 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH27 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH28 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH29 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH30 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH31 Lch演算係数	-127	ダウンミックスCH32 Lch演算係数	-127
ダウンミックスCH01 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH02 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH03 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH04 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH05 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH06 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH07 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH08 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH09 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH10 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH11 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH12 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH13 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH14 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH15 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH16 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH17 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH18 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH19 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH20 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH21 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH22 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH23 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH24 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH25 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH26 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH27 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH28 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH29 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH30 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH31 Rch演算係数	-127	ダウンミックスCH32 Rch演算係数	-127
ダウンミックスCH01 Lch符号	1	ダウンミックスCH02 Lch符号	1	ダウンミックスCH03 Lch符号	1	ダウンミックスCH04 Lch符号	1
ダウンミックスCH05 Lch符号	1	ダウンミックスCH06 Lch符号	1	ダウンミックスCH07 Lch符号	1	ダウンミックスCH08 Lch符号	1
ダウンミックスCH09 Lch符号	1	ダウンミックスCH10 Lch符号	1	ダウンミックスCH11 Lch符号	1	ダウンミックスCH12 Lch符号	1
ダウンミックスCH13 Lch符号	1	ダウンミックスCH14 Lch符号	1	ダウンミックスCH15 Lch符号	1	ダウンミックスCH16 Lch符号	1
ダウンミックスCH17 Lch符号	1	ダウンミックスCH18 Lch符号	1	ダウンミックスCH19 Lch符号	1	ダウンミックスCH20 Lch符号	1
ダウンミックスCH21 Lch符号	1	ダウンミックスCH22 Lch符号	1	ダウンミックスCH23 Lch符号	1	ダウンミックスCH24 Lch符号	1
ダウンミックスCH25 Lch符号	1	ダウンミックスCH26 Lch符号	1	ダウンミックスCH27 Lch符号	1	ダウンミックスCH28 Lch符号	1
ダウンミックスCH29 Lch符号	1	ダウンミックスCH30 Lch符号	1	ダウンミックスCH31 Lch符号	1	ダウンミックスCH32 Lch符号	1
ダウンミックスCH01 Rch符号	1	ダウンミックスCH02 Rch符号	1	ダウンミックスCH03 Rch符号	1	ダウンミックスCH04 Rch符号	1
ダウンミックスCH05 Rch符号	1	ダウンミックスCH06 Rch符号	1	ダウンミックスCH07 Rch符号	1	ダウンミックスCH08 Rch符号	1
ダウンミックスCH09 Rch符号	1	ダウンミックスCH10 Rch符号	1	ダウンミックスCH11 Rch符号	1	ダウンミックスCH12 Rch符号	1
ダウンミックスCH13 Rch符号	1	ダウンミックスCH14 Rch符号	1	ダウンミックスCH15 Rch符号	1	ダウンミックスCH16 Rch符号	1
ダウンミックスCH17 Rch符号	1	ダウンミックスCH18 Rch符号	1	ダウンミックスCH19 Rch符号	1	ダウンミックスCH20 Rch符号	1
ダウンミックスCH21 Rch符号	1	ダウンミックスCH22 Rch符号	1	ダウンミックスCH23 Rch符号	1	ダウンミックスCH24 Rch符号	1
ダウンミックスCH25 Rch符号	1	ダウンミックスCH26 Rch符号	1	ダウンミックスCH27 Rch符号	1	ダウンミックスCH28 Rch符号	1
ダウンミックスCH29 Rch符号	1	ダウンミックスCH30 Rch符号	1	ダウンミックスCH31 Rch符号	1	ダウンミックスCH32 Rch符号	1

１２－３－９－１．ダウンミックス CH01～CH32 ソース選択

ダウンミックス演算する CH01～CH32 のオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32　：エンベット・オーディオ CH01～CH32

Test Tone1、2　：テストトーン 1、2

Mute　：無音

１２－３－９－２．ダウンミックス CH01～CH32 Lch 演算係数

ダウンミックス演算を行う、Lch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

１２－３－９－３．ダウンミックス CH01～CH32 Rch 演算係数

ダウンミックス演算を行う、Rch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

１２－３－９－４．ダウンミックス CH01～CH32 Lch 符号

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは-1 を指定します。

１２－３－９－５．ダウンミックス CH01～CH32 Rch 符号

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは-1 を指定します。

１２－３－１０．音声ミックス設定

１２－３－１０－１．音声ミックス 1 CH01 ソース選択～音声ミックス 1 CH04 ソース選択

音声ミックスするオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32　：エンベット・オーディオ CH01～CH32

Test Tone1、2　：テストトーン 1、2

Mute　：無音

※音声ミックス 2～8 ソース選択 も同様です。

１２－３－１０－２．音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)～音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB)

音声ミックスする際の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

※音声ミックス 2～8 係数 も同様です。

１２－４．再起動設定

１２－４－１．再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかを、いいえ あるいは、はい で設定します。

１２－４－２．コントローラーの再起動

再起動の許可が「はい」の状態で、再起動をクリックすることによりコントローラーが再起動されます。

１２－５．ログ設定

ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、本モジュール基板を再起動してください。ログの時刻は C5001/C5002 フレームのコントローラーの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

1) ステータス

・リファレンス入力のアンロックを含むフォーマットと変化時刻

・SDI-IN 入力信号のフォーマットと変化時刻

・LTC 入力ロック/アンロックと変化時刻

2) 各種設定

全項目の設定値と変化時刻

１２－５－１．ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

１２－５－２．ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

１２－５－３．SD カード状態

SD カードの状態を表示します。

SD カード無：SD カードがスロットに挿入されていない状態。

SD カード検出：SD カードを検出しました。

SD カード準備完了：SD カードの準備が完了しました。（R/W アクセスしていません。）

１２－５－４．ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

１２－５－５．ログ取得

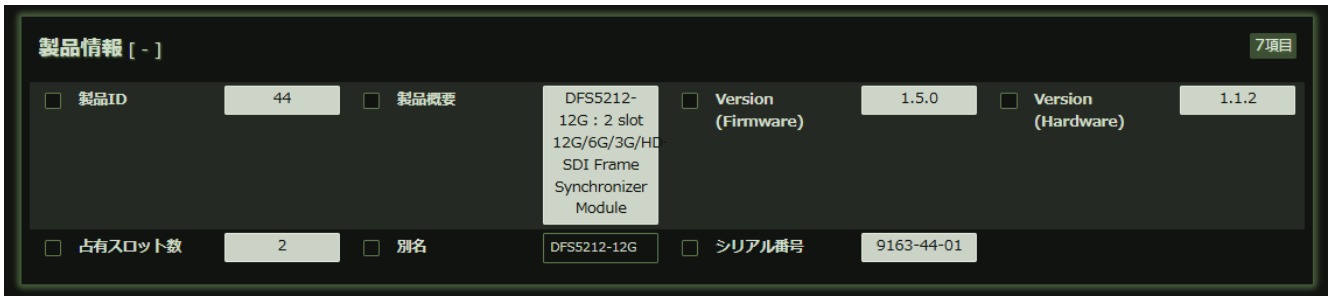
ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx, time,	slt, mode , OID ,	type , val , Status Description
7, 2023-09-22 17:18:05,	2, System, Logging Start v1.4.13	
8, 2023-09-22 17:18:07,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.2	, INT , 1, SDI UNKNOWN
9, 2023-09-22 17:18:07,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.12	, INT , 1, LTC lock
10, 2023-09-22 17:18:07,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3	, INT , 2, REF 525I59
11, 2023-09-22 17:18:12,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.2	, INT , 13, SDI 1080I59
12, 2023-09-22 17:18:14,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3	, INT , 1, REF UNLOCK
13, 2023-09-22 17:18:19,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3	, INT , 2, REF 525I59
14, 2023-09-22 17:18:27,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3	, INT , 1, REF UNLOCK
15, 2023-09-22 17:18:30,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3	, INT , 2, REF 525I59
16, 2023-09-22 17:18:39,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3	, INT , 1, REF UNLOCK
17, 2023-09-22 17:18:42,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3	, INT , 2, REF 525I59

１２－６．製品情報

製品情報にはモジュールの製品情報が表示されます。



１２－６－１．製品 ID

モジュールの ID 番号です。DFS5212-12G は 44 です。

１２－６－２．製品概要

モジュールの機能概要です。

１２－６－３．Version（Firmware）、Version（Hardware）

DFS5212-12G に搭載されている CPU の Firmware バージョンと、FPGA の Hardware バージョンを表示します。

１２－６－４．占有スロット数

占有するスロット数を表示します。DFS5212-12G は 2 スロットです。

１２－６－５．別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

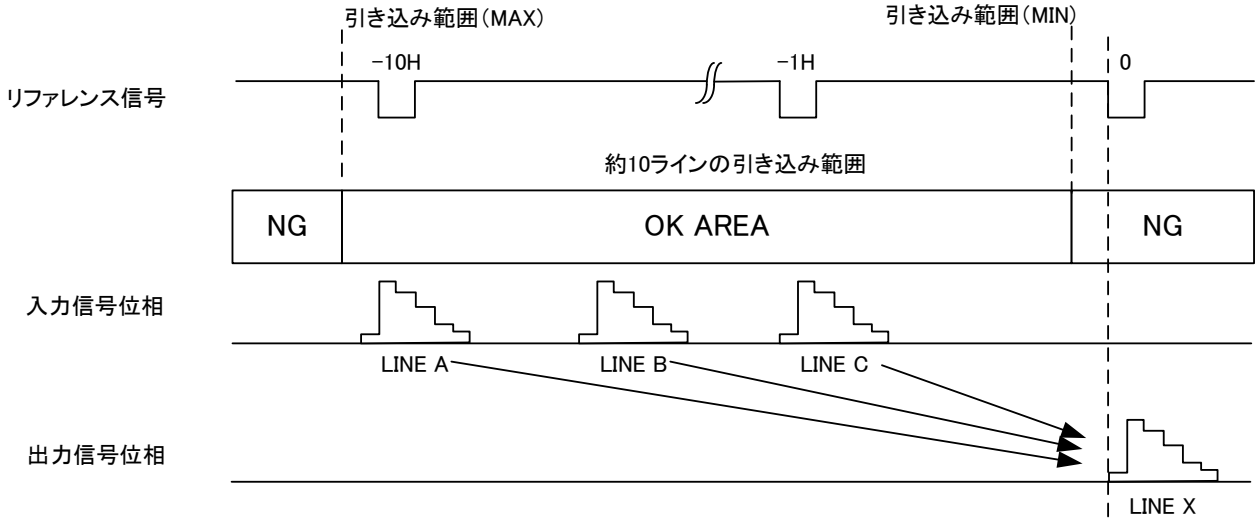
１２－６－６．シリアル番号

モジュールのシリアル番号です。工場出荷時に設定します。

１３．各種タイミングについて

１３－１．AVDL モード引き込み範囲と入出力遅延

出力タイミングを基準としたときの入力信号の引き込み範囲は約 10 ラインの引き込み範囲を有しています。出力タイミングに対して約 10 ラインの下図の OK エリアの範囲で入力された信号は、出力タイミングで正しく出力され、NG エリアで入力された信号は、出力タイミングでは数ライン落ちした映像が出力されます。入力位相が OK エリアに入らないときは、出力位相を調整し、必ず OK エリアに入るようにしてください。



各フォーマットごとの引き込み範囲を以下に示します。

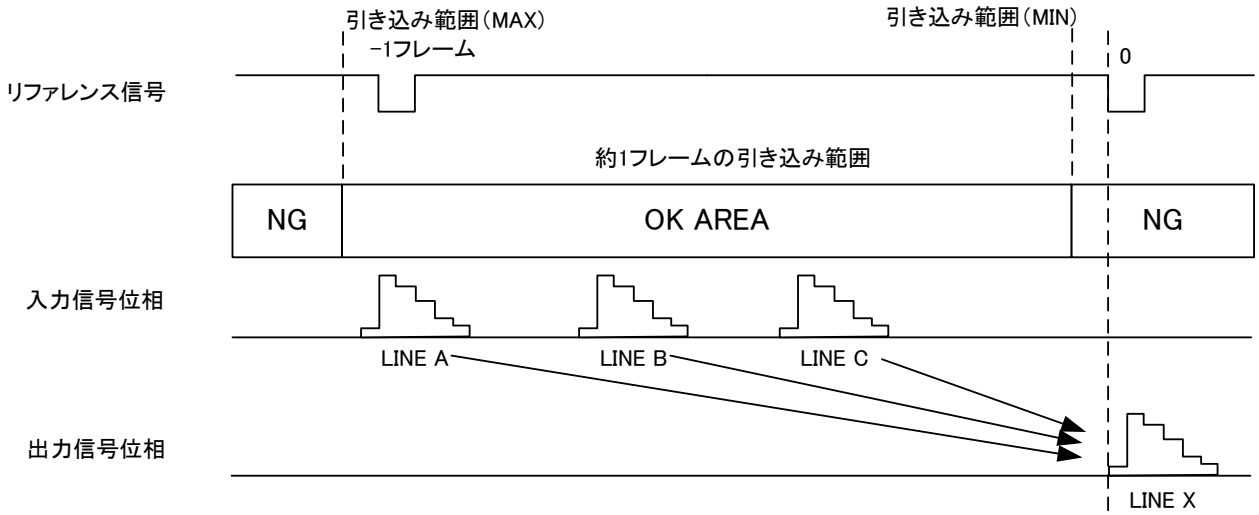
入力フォーマット	引き込み範囲（MIN）		引き込み範囲（MAX）	
720p60	-440pix	-5.939us	-60pix, -10H	-223.044us
720p59	-440pix	-5.918us	-70pix, -10H	-223.388us
720p50	-780pix	-10.519us	-70pix, -10H	-267.636us
720p30	-2100pix	-28.269us	-70pix, -10H	-445.374us
720p29	-2090pix	-28.176us	-70pix, -10H	-445.819us
720p25	-2760pix	-37.172us	-70pix, -10H	-534.276us
720p24	-2925pix	-39.380us	-70pix, -10H	-556.485us
720p23	-2925pix	-39.406us	-70pix, -10H	-557.028us
1080i60	-350pix	-4.754us	-60pix, -10H	-297.131us
1080i59	-360pix	-4.853us	-70pix, -10H	-297.523us
1080i50	-800pix	-10.774us	-70pix, -10H	-356.498us
1080p30	-350pix	-4.741us	-70pix, -10H	-297.266us
1080p29	-360pix	-4.826us	-70pix, -10H	-297.509us
1080p25	-800pix	-10.761us	-70pix, -10H	-356.498us
1080p24	-910pix	-12.256us	-70pix, -10H	-371.313us
1080p23	-900pix	-12.160us	-70pix, -10H	-371.725us
1080psf24	-910pix	-12.256us	-70pix, -10H	-371.313us
1080psf23	-910pix	-12.268us	-70pix, -10H	-371.684us
1080p60A	-360pix	-2.438us	-70pix, -10H	-148.633us
1080p59A	-360pix	-2.427us	-70pix, -10H	-148.768us

入力フォーマット	引き込み範囲（MIN）		引き込み範囲（MAX）	
1080p50A	-800pix	-5.387us	-70pix, -10H	-178.256us
1080p60B	-680pix	-4.586us	-100pix, -20H	-296.970us
1080p59B	-680pix	-4.570us	-100pix, -20H	-297.260us
1080p50B	-1560pix	-10.519us	-100pix, -20H	-355.576us
2160p30	-350pix	-4.687us	-50pix, -10H	-296.956us
2160p29	-340pix	-4.570us	-50pix, -10H	-297.253us
2160p25	-770pix	-10.384us	-50pix, -10H	-356.256us
2160p24	-890pix	-11.987us	-50pix, -10H	-371.044us
2160p23	-890pix	-11.999us	-50pix, -10H	-371.401us
2160p60	-350pix	-2.370us	-50pix, -10H	-148.498us
2160p59	-340pix	-2.229us	-50pix, -10H	-148.640us
2160p50	-780pix	-5.253us	-50pix, -10H	-178.114us

AVDL モードでの入出力遅延は、引き込み範囲と同じ値となります。入力フォーマットが 2160p59 の場合、入出力遅延は最小 2.229us、最大 148.640us となります。

１３－２．フレームシンクロナイズ･モード及び AAM モード入出力遅延

フレームシンクロナイズ･モードでは、非同期信号も最大約 1 フレームの遅延で出力します。



各フォーマットごとの入出力遅延を以下に示します。

入力フォーマット	入出力遅延（MIN）	入出力遅延（MAX）
720p*	3H	1frame + 2H
1080*(HD)	4H	1frame + 3H
1080p60A～1080p50A	4H	1frame + 3H
1080p60B～1080p50B	8H	2frame + 6H
2160p30～2160p23	4H	1frame + 3H
2160p60～2160p50	4H	1frame + 3H

１３－３．バイパス･モード入出力遅延

バイパス･モードでは、入力された SDI に同期し、最小遅延で出力します。各フォーマットごとの入出力遅延を以下に示します。

入力フォーマット	入出力遅延(us)	入力フォーマット	入出力遅延(us)
720p60	7.529	720p59	7.523
720p50	11.933	720p30	29.616
720p29	29.646	720p25	38.519
720p24	40.754	720p23	40.808
1080i60	6.707	1080i59	6.714
1080i50	12.229	1080p30	6.882
1080p29	6.781	1080p25	12.242
1080p24	13.751	1080p23	13.778
1080psf24	13.751	1080psf23	13.751
1080p60A	2.438	1080p59A	2.440
1080p50A	5.495	1080p60B	4.606
1080p59B	4.617	1080p50B	10.552
2160p30	4.835	2160p29	4.840
2160p25	10.909	2160p24	13.737
2160p23	13.765	2160p60	2.283
2160p59	2.278	2160p50	5.232

１３－４．AAM モードでの音声ミュート時間

AAM（音声自動ミュート）モードでは、入力信号の切り替えを検知すると、1/60 秒間（約１フィールド）でフェードアウトし、信号が正常になってから 6/60 秒（約３フレーム）間と AUDIO DELAY で設定した時間ミュート処理を行い、1/60 秒間でフェードインし、通常状態に戻ります。

フォーマットによらず一定時間ミュート処理を行います。

１４．コネクター　ピンアサイン表

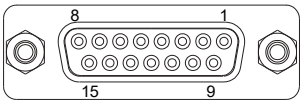
REM　Dsub15（メス）勘合台インチネジ

1	GND	6	GPI5	11	GPO3
2	GPI1	7	GPI6	12	GPO4
3	GPI2	8	+12V OUT	13	GPO5
4	GPI3	9	GPO1	14	GPO6
5	GPI4	10	GPO2	15	GND

GPI1～GPI6　　メーク接点入力(+3.3Vロジック回路受け)

GPO1～GPO6　　オープンコレクター出力(24V/30mA　MAX)

+12V OUT　　+12V(100mA MAX)



１５．定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	12G-SDI　2160/ 60p,59.94p, 50p(TYPE1) 6G-SDI　2160/ 30p, 29.97p, 25p, 24p, 23.98p (TYPE2) 3G-SDI　1080/ 60p,59.94p,50p（レベル A/B）29.97p, 29.97psf(レベル B-DS)　*1 HD-SDI　1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 24bit　同期音声のみ
	コネクター	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p　75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット(映像)	SDI 入力と同じ
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 24bit
	コネクター	BNCx4
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p　75 Ω
リファレンス入力	コネクター	BNCx2（ループスルー含む）
	入力信号、インピーダンス	アナログブラックバースト/3 値シンク　75Ω
AVDL モード引き込み範囲	HD-SDI	MIN　約-39us、MAX　約-223us
	3G-SDI　レベル A	MIN　約-5us、MAX　約-148us
	3G-SDI　レベル B	MIN　約-10us、MAX　約-296us
	6G-SDI	MIN　約-12us、MAX　約-296us
	12G-SDI	MIN　約-5us、MAX　約-148us
フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード引き込み範囲	引き込み範囲に制限なし	
AVDL モード入出力遅延	HD-SDI	MIN　約 5us、MAX　約 557us
	3G-SDI　レベル A	MIN　約 2us、MAX　約 178us
	3G-SDI　レベル B	MIN　約 4us、MAX　約 356us
	6G-SDI	MIN　約 4us、MAX　約 372us
	12G-SDI	MIN　約 2us、MAX　約 178us

フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード入出力遅延	HD-SDI	MIN 約 3H、MAX 約 1 フレーム+2H
	3G-SDI レベル A	MIN 約 4H、MAX 約 1 フレーム+3H
	3G-SDI レベル B	MIN 約 8H、MAX 約 2 フレーム+6H
	6G-SDI	MIN 約 2H、MAX 約 1 フレーム+1H
	12G-SDI	MIN 約 4H、MAX 約 1 フレーム＋3H
バイパス・モード入出力遅延	HD-SDI（720p）	MIN 約 7.5～40.8us
	HD-SDI（1080）	MIN 約 6.7～13.8us
	3G-SDI レベル A	MIN 約 2.4～5.5us
	3G-SDI レベル B	MIN 約 4.6～10.5us
	6G-SDI	MIN 約 4.8～13.8us
	12G-SDI	MIN 約 2.2～5.3us
音声遅延	0ms～2000ms、1ms 単位で設定可能(全モード)	
AAM モードでの音声ミュート時間	8/60 秒＋AUDIO DELAY 設定時間(フェード時間含む)	
出力位相調整範囲	水平方向：+/-2199 ピクセル，垂直方向：+/- 600H	
リモート入出力	コネクター	Dsub15 ピン(メス) 勘合台インチネジ
占有スロット数	2 スロット	
動作環境	0 ℃ ～ 40 ℃　20 % ～ 85 %（結露無きこと）	
電源	DC 12V	
消費電力	12 W	
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	0.3kg	

*1：2160/29.97p,29.97psf の 3G DUAL LINK は、1080/29.97pB,29.97psfB として表示

１６．お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング
Address：〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11
TEL: 042-586-2933 （代表）
042-586-2650 （SI 部）
FAX： 042-584-0314
URL: https://www.cosmic-eng.co.jp/
E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp